



学校計画訪問始まる（須恵小学校）

市教育委員会の学校計画訪問がスタートしました。須恵小学校では、校長先生が学校経営等について説明されたり、モジュール学習や国語、算数、自立活動などの授業が公開されたりしました。下学年の児童は、背中をまっすぐに伸ばし大きな声を出して元気よく文章を読んだり答えを発表したり、上学年の児童は、グループで友達の意見を聞いて考えたり話し合ったりしていました。また、多くの学級でタブレット端末を活用していました。今後、11月まですべての小・中学校と幼稚園で計画訪問が予定されています。



探究活動を深化させる中高連携（竜王中学校）

竜王中学校の3年生が、山口県立宇部高等学校探究科の3年生から、探究活動について研究の背景や目的、方法、結果などを学びました。中学3年生は6グループに分かれて、高校3年生が取り組んだ『おいしい玄米パン開発大作戦』や『みんなでまなぼうさい』という防災に関するイベントなど、身近なことをテーマにして調べまとめるという探究活動の成果を真剣に聞いていました。その後、中学生は、高校生がどのようにして課題を決めたか、大事にしたことや苦労したことは何かなどを尋ね、今後の探究活動の参考にしました。



高齢者スポーツ大会に参加（埴生幼稚園）

埴生幼稚園の年長と年中の園児が、旧山陽町のはつらつシニアスポーツ大会に参加しました。練習を重ねた遊戯と七夕の歌を緊張しながらも披露し、地域の高齢者から多くの拍手をもらって照れていました。中には、園児のそばまで来て「元気な姿を見せてもらってうれしいよ」と話される方もおられました。その後、高齢者と一緒にしたボール運びリレーでは、ボールが箱から落ちないように気をつけながら走っていました。ふだん幼稚園ではできない体験をしたことは、園児にとって有意義な機会となりました。

